

だっこするよ

平成30年2月

社会福祉法人茂原高師保育園

北区立赤羽台保育園

〒115-0053 北区赤羽台1-4-11-105

TEL 3900-0189 FAX 3907-8690

園長 奥戸 昌子



一日、一日 新しい自分へ 春がやってきました

暦の上では立春を迎えます。散歩道で水仙の花たちを見つけました。春はもうすぐそこまで来ています。でも、先日の大雪には大変驚きました。こどもたちは、大喜びで、雪の園庭へ走り出し、近隣の公園も歩き回って「今、ここでの体験」を楽しみました。ひよこ組さんたちもお散歩で残雪を踏んで「サクッ」という音にとても嬉しい笑顔です。環境を遊ぶ=自然と一体化して楽しんでしまう力は見事ですね。本能でしょうか。私は、こどもたちにとって自然ほど豊かな教材=遊びはないと感じます。そして、寒さに負けず、雪の中へ飛び出す意欲、こども時代をこどもらしく、たっぷり遊べる健康な心と身体をこれからもご家庭と共に育んでいきたいと思います。

生活発表会にむけてのゆるやかな取り組みが始まっています。今年から、生活の場所であるホールが会場です。その為、歳児ごとに入れ替え制となり、他の歳児の発表を見ていただくことは出来ません。しかし、インフルが流行り始めた時期に離れた体育館での練習を思うとやはりこれで良かったと感じております。

今、ホールでは、毎日、いろんなクラスがお客様役になり、互いに見せ合いながら表現する楽しさを味わい、みんなの笑顔に包まれています。「発表」を見合うと「私もあるなことやってみたい」「僕もあるな年長さんになりたい」という気持ちが湧いてきています。互いに拍手をしたり、踊りの真似をしたり、歌と一緒に歌ったりと自然に交流する姿は、異年齢の群れで、育ち合える保育園ならではですね。こどもたちは、小さな友人にも「ここが良かったです」と感想を伝えています。優しい気持ちになります。

「同じ釜の飯を食う」と申しますが、一年間のつながりを互いに感じて、安心している・・大きな家族ですね。こどもと大人との温かい信頼関係が築かれ、ここにいる誰もが主役です。

3歳が取り組んでいる「劇遊び」は、友だちとイメージを共有して、一人ひとりが主体的に「なりきり遊び」「ごっこ遊び」を表現するものです。物語りを共有して、自分らしい表現で遊ぶのです。ひとつ一つの動きや台詞はこどもたち自身が決めていきます。4歳は、ダンスで自分表現をします。音楽を聞き、難しい振り付けもみんなと呼吸を合わせて練習しています。日ごと自信を持ち始めた一人ひとりは素敵だな~と思います。年長組は、最後の生活発表会。こどもたちの話し合いでどんな風に表現するのか決めました。台詞を忘れていたらそっと教えてあげるなど仲間意識も深まり、また、合奏でも自分の役割への責任を持とうとして頑張っています。保育所保育指針の教育「ことば」の領域のねらいに「人の言葉や話などを良く聞き、自分の経験したことや考えたなどを話し、伝え合う喜びを味わう。」とあります。それは、発表会を作っていく取り組みでもあり、毎日の積み重ねた活動、当番活動や帰りの会で一日の振り返りを発表する体験が積み重なったものだと思います。これまでの生活を発表したい会・・・まさしくそう思います。

行事は、こどもたちへ節となる成長を共に讃え合う時間です。本番にママと目が合って緊張しても大丈夫。元々、存在そのものがもう唯一無二の宝物たちです。手前味噌ですが、どのクラスも自慢のこどもたちと保育者たちです。仲間と一緒に、自分の力で成長の節目を越えようとする姿を見て下さい。

さあ、開演です。会場一杯に「愛情」の拍手を起こしましょう。

写真は、みんなで見せっこしている練習風景 「みんなが主役」です。